2024年4月吉日

　実習受入れ機関　御中

日本大学生産工学部

土木工学科主任　佐藤克己

生産実習委員　髙橋岩仁・野口博之

**生産実習・同（Ｓ）（インターンシップ）における実習生受入れのお願い**

拝啓　陽春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本学の教育・研究活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学部では技術的・経営的視点による「理論と実践の融合」を理念とし、インターンシップの先駆けである『生産実習・同（Ｓ）』を通じて、幅広い知識・技能と実践技術を関連付け、総合的知見と創造的感性を有した工学技術者の育成を目指しています。昨今では、知識基盤社会をたくましく、しなやかに生き抜く “ジェネリックスキル”や“エンジニアリング・デザイン能力”の醸成が工学教育の新たな課題となっており、本学科においても当科目を通じた“経験を学びに変える力”の養成を一層重視し、継続的な教育改善に取り組んでいます。

つきましては、学生たちがこれらの「学び」を経て“自律的な学習者”へと変容するための実践の機会を賜りたく、実習生のお受入れをお願い申し上げます。なお、本学部では教育改善の一環として、諸手続きのWeb化による情報伝達・共有を推進しています。

お手数ですが概要説明書をご確認のうえ、**5月31日（金）**までに別に配信いたしますメールに記載のURLからWeb登録にてお受入れに対するご回答をいただきたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

略儀ながらまずは書中をもちましてご依頼申し上げます。

敬具

1. 実施期間

・前期授業日の関係上、原則として8月1日(木)～9月10日(火)までの期間に実施ください。

・今後、緊急事態宣言等のより一部内容を変更する場合がございます。

1. 実習内容

・希望として1企業・機関において20日間（140時間）の実習をお願いします。

（20日間の受け入れが難しい場合は10日間（70時間）での実習のご検討をお願いします。）

・実習中には生産実習NOTES、生産実習SYSTEMをご利用ください（実習日誌等）。

1. 考慮いただきたいこと

・生産実習・同（Ｓ）は文部科学省が定める「インターンシップ届出制度」に登録しています。

生産実習NOTES，生産実習SYSTEMを通じた実施をお願いいたします

（「実習内容」、「学生評価」、「フィードバックについて」等が実施されているかが問われます）。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。